

# 医療職域会代表としての喜びの挨拶

**長年の悲願！**

医療職域会 古川 順勝



この嬉しい朗報が届いたのは、今年の5月初旬にFacebookで長崎リハビリテーション病院の西岡心大さんの投稿で知りました。確かに4月28日の官報に厚生労働大臣の定める医療従事者に管理栄養士・栄養士が告示されていました。えっマジ！やったじゃん！これでようやく医療職として医師や看護師と同じ土俵に立つことができた。今まで心はどこかで引け目を感じる管理栄養士も多かったことと思いますが今後は管理栄養士も医療従事者なんだから栄養のことは全て管理栄養士に任せてくれと強い気持ちと自信を持って仕事に就けると思います。これは多くの先輩方、栄養士会連盟、栄養士会のご尽力の賜物であり感謝申し上げます。今後は病院等に勤務する管理栄養士・栄養士の人員配置が都道府県知事へ報告されるため、医療従事者としての管理栄養士・栄養士の就業実態がより正確に把握されることとなります。また、国民に対して病院等における管理栄養士・栄養士の人員配置について広く情報提供がなされることが期待されます。その一方で管理栄養士の人数が透明化されることで施設間の格差が浮彫になります。例えば病棟に管理栄養士1名配置は栄養ケアの強化で在院日数が短縮されるエビデンスもあり管理栄養士の増員は有効ですが、そこをいかに経営陣を説得させ実現できるかは管理栄養士の實力次第です。これからの病院管理栄養士は栄養部門だけではなく多職種連携し経営に貢献できる能力が必要とされています。